



<校訓>

敬愛 自主 剛健

未来橋

令和8年2月

高浜町立高浜中学校

Takahama Junior Highschool



学年のまとめと継承を

寒さの中にも、少しずつ春の気配を感じる季節となりました。3年生は進路実現に向けて最後の努力を続けており、2年生・1年生も学習の総まとめと進級の準備に取り組んでいます。

「巨人の肩の上に立つ」(Standing on the shoulders of giants)という有名な言葉があります。先人が積み重ねてきた努力の上に、新しい挑戦が成立するという意味です。

この時期は、学年のしめくりであると同時に、「伝統を受け継ぎ、次へと引き渡す準備をする時期」でもあります。3年生の歩みが、確かに1・2年生へと受け継がれようとしています。自分たちの代で終わらせるのではなく、よりよい形でつなぐ姿勢が見られ、学校全体が静かに息づく時節でもあります。

伝統をつなぎ、新たに創る生徒会

生徒会活動は、前期スローガン「SHINKA(しんか)」から後期の「繋創(つなつく)」へと引き継がれ、行事の運営、生徒心得の見直し、あいさつキャンペーン、学校環境整備、地域貢献活動など3年生が中心となって学校を支え続けてきました。その姿から1・2年生は多くのことを学んでいます。生徒会長は言います。「伝統は、守るものではなく、よりよくするもの」。継承の核心をつく言葉です。生徒会活動が、生徒たちの学校生活を彩り、力強くリードしてきたことは間違いありません。



育てた部活動文化を引き継ぐ

部活動では、3年生からの技術・姿勢・チームの文化が着実に根づいています。スポーツの世

界でよく言われる「チームは生きもの」という言葉の通り、先輩たちが育てた空気や価値観が、次の代に命を吹き込み続けています。卒業を控える3年生の「最後までやりきる姿」は、後輩にとって何よりの財産です。一緒に培ってきた粘り強さとチームワークを、今後も大切に継いでほしいと思います。



今日あなたが積み上げた石が、明日誰かの礎になる

探究学習では、上級生の問いの深さや調査の過程、資料のまとめ方が下級生の刺激となりました。1年生からは、「来年は自分もあんな発表をしたい」という声も上がっています。

論語の「学びて思わざれば則ち罔(くら)し」にあるように、ただ学ぶだけでなく、考え続けてこそ次につながります。3年生が示した「考え抜く姿勢」は、確かに次の学年へ受け継がれています。



他にも、学校行事やボランティアによる地域貢献活動、ヒューマンサークル(地域人権学習)など、さまざまな取り組みを通して得た力と優しさが、次の誰かのために活かされることを願っています。残りの時間を大切に過ごしてほしいと思います。

準備と挑戦、進路選択へ(3年)



未来を拓く、探究学習発表会(2年)



信頼される先輩に、新入生体験入学(1年)



3年生は、高校入試に向けて面接練習や補充学習に取り組み、懸命に進学準備を進めています。今月には、近隣高校で一般入試が実施されます。体調管理に十分気を配り、これまでの学校生活で培ってきた力を存分に発揮してほしいと思います。

2年生は、3年生に続いて探究学習の成果発表を行いました。どのグループも柔軟な発想と仲間との協働を生かし、素晴らしい発表を披露しました。見学に訪れた小学生からも「多くの学びがあった」と感謝の声が寄せられ、地域社会の課題解決に向けて積み重ねてきた学びの成果が感じられる内容となりました。

1年生は、校区の小学生を迎えて体験入学を実施しました。サプライズ合唱も披露されるなど、感動に包まれた時間となりました。入学への不安が少しでも期待に変わるようにと、実行委員会を立ち上げ準備や運営に主体的に取り組む姿から、「信頼される上級生になりたい」という学年全体の成長が見られました。

ひのとい うしとら 「丁亥会」、「丑寅会」の皆さまからの寄贈品

100インチモニター、スタンド



今年、還暦を迎えられる卒業生の皆さま(丁亥会)および、初老を迎えられる卒業生の皆さま(丑寅会)より、本校最大となる「100インチ大型モニターとスタンド」をご寄贈いただきました。

いただいた品は、今後の教育活動の中で末永く大切に活用させていただきます。皆さまの母校への温かいご支援に対し、心より感謝申し上げます。